

# 令和元年度家畜人工授精師養成講習会（山羊）開催要領

家畜改良増殖法（昭和25年法律第209号）第16条第2項の規定に基づき、令和元年度家畜人工授精師養成講習会を下記のとおり開催する。

## 1. 主催：沖縄県

## 2. 開催期日

- 1) 講習会 令和元年10月28日（月曜日）～同月31日（木曜日）  
令和元年11月5日（火曜日）～同月22日（金曜日）

※尚、台風時には土曜日、日曜日および休日を含め、別日程を設ける。

※講習時間は、原則として午前8時30分から午後5時15分までとし、土曜日及び日曜日は休講とする。

- 2) 修業試験：令和元年11月22日（金曜日）

## 3. 講習場所

沖縄県畜産研究センター：今帰仁村諸志2009-5

## 4. 講習の目的

家畜改良増殖に係る家畜人工授精業務に関し、必要な知識を習得させる。

## 5. 講習の受講対象者

県の畜産関係機関の長が必要と認める者。

## 6. 講習の対象家畜

山羊

## 7. 講習科目及び講習時間

別紙のとおり

なお、講師の都合により一部変更もありうる。

## 8. 受講定員

受講者が定員に達しない場合は講習会を開催しないこととする。なお、受講申込者が定員を超える場合は書類審査及び関係機関との協議等により受講者を決定する。

## 9. 受講申請

### 1) 受講申し込み

受講希望者は、受講願書（別紙様式第1号）に推薦書（別紙様式第2号）及び履歴書（別紙様式第3号、写真添付）を添えて、住所地を管轄する家畜保健衛生所へ令和年10月2日（水）までに必着するよう提出すること。（期日厳守）

なお、一部免除の対象者については、家畜人工授精師養成講習会受講等免除申請書（別紙様式第4号）及び、学科目取得証明書（別紙様式第5号）を添付すること。

### 2) 受講申請の承認

提出された受講申請書を審査し、受講を適当と認める者については、受講承認通知を各家畜保健衛生所長あてに送付する。

## 10. 講習手数料

開講時に講習手数料32,400円を沖縄県収入証紙※により徴収する。

なお、納付後は講習手数料は還付しない。

※銀行窓口で取り扱い。

※収入印紙と間違えないよう注意すること。

## 11. 講習及び修業試験の一部免除

### 1) 「大学等で当該科目の一部を終了した者」

家畜改良増殖法施行規則（昭和25年農林水産省令第96号）第24条の2第1項の規定により、大学等において同法施行規則第23条第1項に掲げる科目のうち特定科目（別記1）を既に修めた者は、その科目についての受講及び修業試験の免除を受けることができる。講習会の受講及び修業試験の免除を受けようとするときは、受講申請書提出の際に、家畜人工授精師養成講習会受講等免除申請書（別紙様式第4号）及び学科目取得証明書（同第5号）を提出すること。

### 2) 「他畜種についての講習会修業試験に合格した者」

同法施行規則第24条の2第2項の規定により、他の種類の家畜について講習会の修業試験に合格している者は、同法施行規則第23条第1項第1号に掲げる一般科目（別記2）の受講及び修業試験の免除を受けることができる。講習会の受講及び修業試験の免除を受けようとするときは受講申請書提出の際に、家畜人工授精師養成講習会受講等免除申請書（別紙様式第4号）及び当該修業試験合格書の写しを提出すること。

## 12. その他

1) 筆記用具、印鑑、実習着、（作業着、長靴）を持参すること。その他、持参を要する物については講師の指示による。

2) 遅刻及び途中退席は、欠席として扱う。時間厳守のこと。

3) 講習会では「家畜人工授精講習会テキスト」（社団法人日本人工授精師協会）を用いる。

なお、同テキストの斡旋を希望する者は、講習会初日に斡旋するので受講申込書に明記すること。（テキスト代：8,100円）

4) 宿泊については、各自手配すること。

## (別記 1)

### 11の 1) の関係

(特定科目)

- ・ 畜産概論
- ・ 家畜の栄養
- ・ 家畜の飼養管理
- ・ 家畜の育種
- ・ 生殖器解剖
- ・ 繁殖生理 (神経・内分泌及び雌繁殖生理)
- ・ 精子生理 (雄繁殖生理)
- ・ 種付けの理論 (妊娠と分娩)
- ・ 家畜の審査
- ・ 発情鑑定

## (別記 2)

### 11の 2) の関係

(一般科目)

- ・ 畜産概論
- ・ 家畜の栄養
- ・ 家畜の飼養管理
- ・ 家畜の育種
- ・ 関係法規

(様式第1号)

令和 年 月 日

沖縄県知事 殿

本籍地

現住所

氏名

印

生年月日

## 受 講 願

令和元年度家畜人工授精師養成講習会（畜別 山羊）を受講したいので、関係書類を添えて申し込めます。

※添付する関係書類は以下の通りです。（○を付ける）

- ・推薦状（様式第2号）
- ・履歴書（様式第3号）※顔写真を貼付
- ・家畜人工授精師養成講習会受講等免除申請書（様式第4号）
- ・学科目取得証明書（様式第5号）

※受講が承認された際には、講習会で使用するテキスト「家畜人工授精講習会テキスト」（社団法人日本人工授精師協会）の購入を希望【します・しません】（○を付ける）

(様式第2号)

# 推 薦 状

令和 年 月 日

沖縄県知事 殿

(推薦者) 住 所

氏 名

印

(推薦理由)

記

住 所

氏 名

※推薦者については、受講申込者の住所地の市町村長とする。



年	月	免許・資格

山羊の飼養管理に係る経験等	
山羊生産部会所属	無 ・ 有（部会名： ）
認定農業者	無 ・ 有（取得年： 市町村： ）
山羊飼養頭数	<p>成山羊♂ 頭      成山羊♀ 頭      育成山羊 頭</p> <p>子山羊 頭      肥育山羊 頭      計 頭</p> <p>※市町村に届出している飼養者名が申込者本人でない場合、届出している市町村、飼養者名及び申込者との続柄を明記すること。</p> <p>市 町 村：</p> <p>飼 養 者 名：</p> <p>申込者との続柄：</p>
山羊飼養経験年数	年 （新規就農者は開始予定年：平成 年）
人工授精予定頭数	

志望の動機、アピールなど

(様式第4号)

# 家畜人工授精師養成講習会受講等免除申請書

令和 年 月 日

沖縄県知事 殿

住 所

氏 名

印

家畜改良増殖法施行規則（昭和25年農林水産省令第96号）第24条の2第（1、2）項の規定に基づき、講習会の受講及び修業試験の免除を受けたいので、同規則第24条の2第（6、7）項に掲げる書類を添えて申請します。

※（ ）内は該当するものを○で囲むこと。

大学での科目終了者は左、他畜種講習会修業試験合格者は右の内容。

# 学科目取得証明書

(申請者) 住 所

氏 名

大学で履修した学科目名	修めた単位または時間数	修了年月日	備 考

頭書の者は、上記のとおり学科目を履修し、所有の単位（時間）を修了したことを証明します。

令和 年 月 日

住 所

職場名

職氏名

印